

活動の記録と次月度日程

5月	1日	消費者月間街頭啓発チラシ配布 JR 宇都宮駅構内
	8日	JA「TPP決議の実現を求める栃木県緊急集会」
	8日	常務理事会・コウノトリ・トキの舞うふるさとおやまをめざす会(小山市)総会
	9日	労働者福祉協議会幹事会
	14日	消費者月間記念イベント「消費者の集い(総合文化センター)」
	15日	とちぎ食の安全ネットワーク全体会
	16日	協同組合研究所セミナー(東京)
	16日	総合防災訓練全体会
	18日	フェスタマイうつのみや(城址公園)
	19日	とちぎ地産地消県民運動実行委員会
	20日	ふれあいお茶会
	20日	役員推薦申出締切り・監事会「年度末監査」
	21日	役員推薦委員会・中央地連介護保険学習会・監査報告締切り
	21日	宇都宮大学生協同組合総代会
	23日	足利工業大学総代会
	23日	栃木県労働者消費生活協同組合総代会
	23日	労働者福祉協議会総会・栃木県労働者福祉センター総会
	24日	いわき市四倉仮設住宅お茶会
	26日	厚生労働省消費者庁「消費者シンポジウム」三田共用
	27日	消費者ネットワーク全体会
	28日	栃木県農協連職員生活協同組合総代会
28日	ブリヂストン那須グループ生活協同組合総代会	
29日	小山市総合計画策定懇話会	
30日	第6回定例理事会	
31日	とちぎ労働福祉事業団総会	
6月	2日	宇都宮市職員生活協同組合総代会
	5日	栃木市長訪問
	6日	福祉ネットワーク世話人会
	8日	NPOとちぎ消費生活サポートネット総会
	9日	くらし部会
	9日	労金全体会議
	10日	くらし応援会総会
	11日	とちぎコープ生活協同組合総代会
	12日	とちぎ食の安全ネットワーク世話人会
	12日	いわき市四倉仮設住宅お茶会
	12日	パルシステム茨城総代会
	12日	パルシステム群馬総代会
	12日	生活クラブ生協総代会
	13日	日本生協連総会
	14日	よつ葉生活協同組合総代会
	16日	くらし部会学習会「介護保険制度見直し」
	17日	ふれあいお茶会
	17日	栃木県学校生活協同組合総代会
	19日	適格消費者団体について懇談 くらし安全安心課
	21日	いわき市四倉仮設住宅お茶会
	24日	とちぎ消費者ネットワーク幹事会
24日	消費者庁打合せ「グループフォーラム」	
25日	中央労働金庫総会	
26日	栃木県職員生活協同組合総代会	
27日	栃木県生協連総会	
29日	栃木保健医療生活協同組合総代会	
7月	3日	県民生活部部長表敬訪問
	4日	生活者懇談会(チェーンストア協会)
	7日	第一回『組合員・役職員学習会』憲法
	9日	労働者福祉協議会幹事会
	10日	栃木放送番組審議会
	10日	総合防災訓練全体会
14日	常務理事会	

15	日	ふれあいお茶会
15	日	JA 改革検討委員会
15	日	日本生協連「県連活動推進会議」
17	日	とちぎ食の安全ネットワーク全体会
18	日	食と農をつなげる会打合せJA
18	日	社団法人コープ福祉 社員総会
19	日	いわき市四倉仮設住宅お茶会
22	日	とちぎ消費者ネットワーク全体会「くらし安全安心課との意見交換会」
26	日	第二回『組合員・役職員学習会』TPP
28	日	栃木県食の安全安心推進会議
30	日	栃木県労働者共済生活協同組合(全労済)総代会
30	日	福祉ネットワーク「学習会」
31	日	福祉センター理事会
<hr/>		
1	日	くらし安全安心課意見交換会
4	日	くらし部会
5	日	日本生協連「会計研究報告学習会」
7	日	小山市総合政策策定懇談会
8	月	理事会・監事会
12	日	ふれあいお茶会
19	日	福祉ネットワーク世話人会
21	日	福祉ネットワーク世話人会
24	日	放射線による健康影響に関する意見交換会
28	日	とちぎ食の安全ネットワーク世話人会
31	日	栃木県・下野市合同総合防災訓練

県連活動

1. 第45回 定期総会終了

6月27日(金)14時～16時30分(於：宇都宮ホテル丸治)第45回の総会が無事終了しました。代議員35名に対して実出席26名、代理委任1名、書面議決8名の出席となり、7つの議案とも賛成多数で可決されました。新役員体制になりこれまで以上に、会員の皆さんと連携、協同してしっかりとした生協運動を進めて参ります。

2. 子ども110番の取り組み

2005年12月、栃木県今市市(現：日光市)に住む当時7歳の小学1年生の娘が行方不明となり、茨城県常陸大宮市の山林で刺殺体となって発見された事件を受けて「子ども110番パトロール中」「子ども110番 ひなんじょ」の活動が会員で開始されました。配送車や店舗、事務所などに掲示し、常日頃から注意していたわけですが、6月3日容疑者逮捕となり、私たちの活動も一定の区切りとなったと思います。本当に残念なことです、尊い命は戻りません。このような事件が2度と起きないように、協同と連携でこれまで以上に地域に目を配りながら事業活動を続けていくことが必要とされています。



3. くらし部会

6月の定例会では、「介護保険制度改定案の概要について」県高齢福祉課の矢古宇課長補佐による学習会を実施し、参加者は37名でした。これらの学習を受けて、今後市長訪問を具体化することとしました。行政、他団体との協働活動では、うつのみや食育フェアへの出展テーマの検討、ECOテック&ライフとちぎ2014の出展確認をしました。チェーンストア協会からの「生活者懇談会」の申し入れに参加を決めました。秋に予定している「食と農をつなげる会」ではないようについて今後検討することとしました。

行政、他団体との協働活動

1. 消費者の集い開催される

5月14日栃木県と栃木県金融広報委員会主催による「消費者の集い ～安全・安心なくらしのために～」が開催されました。消費者被害を避けるための講演では、紀藤弁護士による「悪質商法の手口と撃退方法」のお話があり、消費者団体による活動発表では栃木県消費者リーダー連絡会佐野支部による「送りつけ商法」の寸劇、栃木県市町村消費者団体連絡協議会からは「クイズにチャレンジ」が行われ、生協連からは43名

が参加しました。

2. くらし応援会総会

6月10日とちぎ暮らし応援会の総会が開催されました。とちぎ暮らし応援会はこれまで生協連として会員の協力による募金で活動支援をしてきました。活動報告によると、前年度は孤立を防ぐための訪問活動を5名の訪問支援委員によって行ない585軒、全ての訪問が終えたとの事です。その上で継続的な訪問支援が必要な方への訪問や見守り、定期的なニュースレターの全戸配布などに取り組まれたそうです。

本年度の活動計画では、生活再建に踏み出せないでいる方への支援に特化し、専門的な相談や就労の問題、住居の問題などは専門機関を紹介していくという活動を継続し、周囲との関係性の構築が困難な高齢者支援を重点にしていくそうです。これからも必要に応じて、みなさんの支援をお願いします。

ネットワーク活動

1. とちぎ食の安全ネットワーク

5月、6月の定例会では、第13回とちぎ食品安全フォーラムの実施について検討しました。10月9日開催とし、会員生協の組合員アンケート（食の不安を伺う内容）を基に、「放射性物質と食品の安全性について」としました。併せて県北（県北福祉センターが主催）、県南（安足福祉センターが主催）会場の取り組みについても共有化を図りました。

全体会を利用した学習会では、5月に宇田名誉教授講師で「輸入食品の監視体制、TPP参加は大丈夫か」が実施され、44名が参加しました。次回7月は「動物用医薬品」を予定しています。

2. とちぎ消費者ネットワーク

5月、6月の定例会では、とちぎ消費者カレッジの受託を決め、取り組みの計画について検討し、実施を決定しました。5会場をめざして学校側と交渉を進めます。消費者庁が進めている「グループフォーラム」の開催事務局の件では、受託することを決め、準備、調整に入ることとしました。また、恒例となった県庁消費者行政推進室との意見交換会は、7月22日と決定しました。

適格消費者団体の件について、くらし安全安心課との意見交換を6月19日に行いました。消費者にとって様々な組織があることが安心につながり、大切であるとの認識から今後も情報交換をして行く事としました。全体会を使った学習会では、山田幹事による「消費者問題はなぜおこる」が実施され、54名が参加しました。次回7月は「消費者市民社会における 栃木県内のパブリックコメント制度を検証する」を予定しています。

震災支援活動

[ふれあいお茶会¹]

5/20 (火) 避難者 16名 ・浪江町9名（内子供1名）、双葉町2名、福島市1名、相馬市1名、須賀川市1名、飯館村1名 ・千葉県1名 行政 3名 ・福島県避難者支援1名、郡山市避難者支援2名 スタッフ 14名	○スタッフ感想 1. 前回からケアマネさんの紹介で参加された方、初めはほとんど話をされなかったがスタッフみんなで少しずつ話しかけたところ今日は笑顔が見られた。きっと楽しんでいただけたと思う。 2. 浪江出身の方、時間が経つにつれ想いも変わりもう避難者とは言われたくない。いわきへ引っ越しても未だ自分の居場所と言える場がないとのこと。 3. お花を持ってきて下さった方、花を楽しむ余裕ができたことを自分自身うれしく思うとのこと。 4. スタッフとして初めて参加、交流の場、現状を知ることが目的とした。参加者の話を聞くにつれ少しだが理解できたような気がする。 5. 福島子どもたちが今後どのような影響を受けるのか心配。家があるのに帰れない
--	--

¹ 栃木県生協連が中心になり、NPO 法人ウィズ、行政などの協力のもと、社会福祉法人ふれあいコープ特養みどりの地域交流室を使って開催する福島からの避難者を対象にしたお茶会。①参加者同士をつなげる場、②参加者の想っていること困りごとを受けとめつなげる場、③おしゃべりを楽しんでいただく場の3つの目的を立てて実施しています。基本は毎月第三火曜日開催。

<p>池田、小畑、古口、鈴木、飯野、江波戸、三橋、宇津木、海老沼、松林、川村、田中、田畑、竹内会長</p>	<p>のはつらいとのこと。</p> <ol style="list-style-type: none"> 参加者の方に唐揚げなど料理を教えてもらった。フットワークが軽くみんなと楽しく過ごしていた様子。 手芸をしながら、このお茶会で一緒になったけれど、離ればなれになるのかと思うと複雑な気持ちになるとのこと。 雪の少ない宇都宮にきて、歳をとったら暖かいところが住みやすいとのこと。 福島支援の方、参加者の方の話を直接聞くことができ良かった。改めてできるだけ支援に力を尽くしたいと思った。 行政の方には、高齢の参加者の想いを受け止めてどのように支援していくかを考えて欲しい。青年時代、晩年とつらい思いを繰り返している。ご本人に自分のことは忘れていないということが伝わるよう期待している。
<p>6/17 (火) 避難者 15 名 ・浪江町 9 名 (内子供 1 名)、双葉町 2 名、福島市 1 名、相馬市 1 名、須賀川市 1 名、飯館村 1 名 行政 1 名 ・福島県避難者支援 1 名 スタッフ 15 名 池田、古口、鈴木三、飯野、江波戸、三橋、宇津木、海老沼、松林、神山、川村、田中、鈴木、田畑、竹内会長</p>	<p>○スタッフ感想</p> <ol style="list-style-type: none"> 初めて参加の方、避難先を探していたところインターネットで壬生と出会った。これも縁かな〜と思う。 浪江の方同士でふるさとの話をしていた。踏切、コロッケ、しゃげ、なつかしい場面が浮かんでいるようだ。 ピザ作りをみんなで楽しんでいて。家でもやってみたくて好評だった。 震災後 3 年、人生山あり谷ありだよ、つらいことは一杯あったけれど不幸だなんて思ったことはない。 震災後 3 年、いろいろなことを考え悩んでいる様子、笑顔で帰られたので良かったと思う。 うちわ作り、黙ってできるのが良いとの声あり。 高齢の方、子育てサロンで子どもたちに出会ったら笑顔になり楽しんでいて。 お休みがちな方へ連絡をしてみる。 浪江出身の方と除染についての話をした。(県避難者支援) 参加者の方々は福島へ戻る方、栃木に残る方など、気持ちの変動がある。

[いわき市四倉仮設住宅お茶会²⁾

<p>5/24(土) 参加者 1 1 名 スタッフ 1 3 名 ・栃木県避難者 2 名 ・よつ葉生協 1 名 ・とちぎコープ 8 名 ・県連 2 名</p>	<p>今回の手芸は、カラフルに色付けする小さな「マグネットプレート」づくりでした。花などの好きな模様色に色のついた粉末を付けて、鉄板に貼りつけられるプレートを作りました。</p> <p>食事では、「寿司酢でつくったピクルス」が「さっぱりして酸っぱさも控えめでおいしい」と好評でした。</p> <p>男性グループは、フラワーパークに出かけました。案内していただいた避難者の方も「初めて来たが、広いのでビックリした」とおっしゃっていました。</p> <p>会話では、「今後の生活の不安もあるが、月 1 回の集まりは楽しみ」「同じ被災者の方も来ていただいて、よくおしゃべりができた」「戻ろうにも除染の補助が出ない」「戻れるような復興になっていない」など将来の見通しが立たない不安が多く出されていました。一方で、「なかなか不安を口に出せないで、このような場はありがたい」という声もありました。</p>
<p>6/21 (土) 参加者 1 1 名 スタッフ 1 1 名 ・栃木県避難者 1 名 ・とちぎコープ 8 名 ・県連 2 名</p>	<p>毎回の「工作」は、「うちわづくり」でした。すきな柄を選んで世界に 1 つの手作りうちわづくりを楽しみました。</p> <p>食事は、ちらしずし、お漬物、さくらんぼや手作りプリンなどどれもおいしいと好評でした。</p> <p>男性グループは、「塩屋埼灯台」に出かけました。あいにくの霧で見通しは悪く、次回のお楽しみとなりました。</p> <p>お話の中で、「仮設にいられる期間が 1 年延びたこと」「1 人でいると笑わないので、このような場を楽しみにしていること」「被災しても前から大事にしている植物を大切に育てていること」「自分の町だけの情報にとどまらず、もっと広い範囲で情報交換が必要になっていること」など今後に向けての話も出ていました。</p> <p>お茶会の声掛けでは、「鍵のかかっているお宅や開いていても鳥のフンなど人が住んでいる気配のないお宅が増えているような気がする」という報告もありました。</p>

県連内部運営

1. 事務局移転について

7 月 1 日新事務所に移転しました。

〒320-0024 宇都宮市栄町 1 番地 15 号 栃木県開発センタービル 2F ☎ 028-624-6650

以上

²⁾ 栃木県生協連が中心なり、いわき市四倉仮設住宅に暮らす避難者の方を対象にしたお茶会。現地の集会室を借りて実施します。基本は毎月第二土曜日開催。目的は、ふれあいお茶会と同様。